

# アジア視点で生きる沖縄県

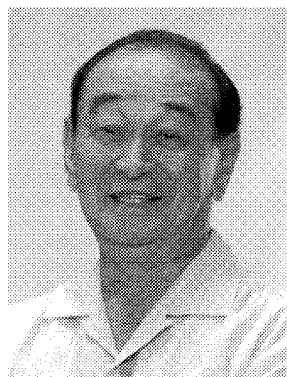
沖縄県は2012年に本土復帰40年を迎えた。今後の10年間の沖縄振興の指針となる新振興計画は、40年を契機に県が初めて立案を主導した。IT企業の立地促進や空港・港湾周辺の国際物流拠点化などを基本施策とする。琉球王国時代の15世紀に築かれた「万国津梁」は、世界の架け橋を意味する。東アジアの中心に位置する沖縄において、その経済的役割は、今こそ最大化しようとしている。

## 4時間で各都市に

これまで沖縄と本土との距離はネックだった。だが新興国の急速な発展とともに視点をアジアへと移すことで、その距離は強みになった。全日本空輸は09年、那覇空港を中心に成田と羽田、関西の各空港とソウル、上海、香港、台北そしてバンコクの5空港を結び、物流網をハブ化させた。多くの主要空港への所要時間は1〜2時間台(図)。成田からバンコクへ輸送しても約7時間。夜間に輸送する翌日配送体制が実現した。小口配送でもヤマトホールディングスが、翌日配送サービスを提供している。配達サービスを12年度中に始める。最長4日間の輸送時間を最短翌日に短縮するほか、保冷配送も視野に入れている。優位性は中継地としてだけではない。県内に製造・物流拠点を持つことで、アジア全域をカバーするスピードディーナ供給は広がる。

製造拠点としては、うるま市の国際物流拠点産業集積地域がある。現在、39分の用地を分譲中だ。同地域は法人税課税所得40%控除や関税面などの税優遇措置が受けられる。特区。用地取得費の最大半額補助や、県外・海外への出荷に対する年間200万円までの輸送経費補助も受けられる。新たな賃貸工場整備の計画も進む。技術支援は隣接する県工業技術センター(うるま市)が担当。また金型産業の基盤づくりも進んでいる。沖縄では歴史的に金型製造業が発展してこなかった。県外へ発注するしかなく、コスト増や開発スピード低下による産業振興の停滞を招いていた。10年に開設した県金型技術研究所(同)には加工設備を備え、併設する金型工場に金型製造の関連企業5社が入居する。労働力の豊富さも魅力だ。沖縄は毎年3000人を見れば、日本のモノづくりを変える可能性を持つと期待している。

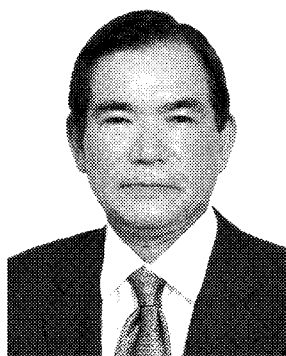
## 企業進出を強力に支援



沖縄県知事 仲井眞弘多氏

今、沖縄は日本のアジアに向けたビジネス拠点へと生まれ変わるうとして、端にある沖縄県は、本土各地やアジアの主要都市から飛行機で4時間圏内という地理的に絶好の位置にあります。この地の利を活かし、沖縄県では航空貨物ハブが国内外8都市を結んで居ます。さらに法人税課税所得の40%が控除できる「経済特区」をはじめ、物流コストを減らすとともに、技術者を必要とする「人材」を提供いたします。企業は、リスク分散や新たな事業展開の拠点として、是非沖縄へお越し下さい。沖縄県は皆さまの発展をお約束いたします。

## 沖縄は生まれ変わる



沖縄県経済団体会議議長 國場幸一氏

今年、沖縄県は復帰40周年を迎えました。復帰後の計画などの国の御支援と沖縄県民の努力の結果、着実に発展してまいりました。特に社会インフラは整備され、沖縄の経済発展の原動力となってきました。今年度、新たに始まる「沖縄21世紀ビジョン基本計画」は、各層が参加し取りまとめた。この基本計画の実現のため、沖縄の独自性・特殊性を活かしながら、経済発展を促す体制を整え、経済を潤す構造を目指す。沖縄の自立型経済の実現により、日本経済の発展にも貢献できると考えています。

## 自立型経済の実現を

## 電力安定 ITにも好条件

地震の少なさとエネルギーの安定も沖縄は優位にある。近代的な地震観測が開始された1926年以来、沖縄本島で震度5以上を観測したのは1度のみ。豊富な電力予備率は産業の伸長を妨げない。沖縄電力の浦火力発電所(中城村)は、発電能力約25万キロワットを持つ1号機が12年11月に稼働予定だ。液化天然ガス(LNG)を燃料とし、温室効果ガスの排出が石炭や石油に比べて少ない。今後同規模の2号機が13年5月、3号、4号機は22年度以降に導入の予定。12年度の電力供給予備率は45・7%と高い。地盤やエネルギーの安定はIT関連企業にとっても好条件だ。沖縄県は沖縄IT津梁パーク(うるま市)への情報通信関連産業の拠点を狙う。データセンターやコールセンターの集積に留まらず、ソフトウェアやシステムの開発拠点としての位置づけがカギ。IT人材の育成とともに、クラウドコンピューティングサービス創出や、組み込みソフト開発などで付加価値を高める。



豊富な観光資源もビジネスに役立つ(西平安名崎) <OCVB提供>

沖縄電力

いつも変わらない安心を。

暮らしをパッと咲かせましょう

街に暮らしに ちゅうらエネルギー

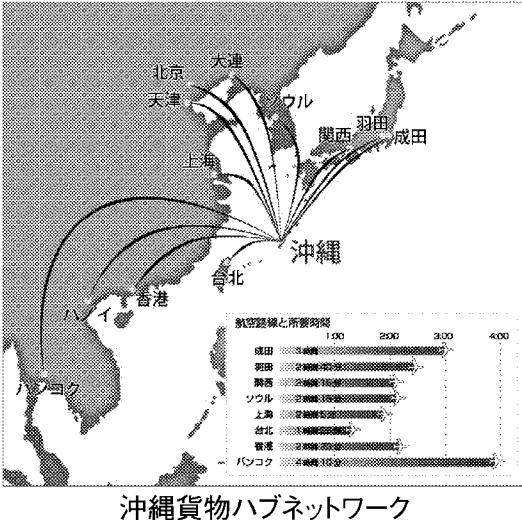
**沖縄ガス**

代表取締役社長 宮城 諒

〒900-8605 沖縄県那覇市西3-13-2

TEL (098) 863-7730 (大代表)

HP: <http://www.okinawagas.co.jp>



沖縄貨物ハブネットワーク

次代と共に

おかげさまで **80** 周年  
これからも共に築く

**株式会社 國場組**

[kokubagumi.co.jp](http://kokubagumi.co.jp)

### 國場組グループ

- 國和設備工業株式会社
- 株式会社 沖縄特電
- 國和建設株式会社
- 沖縄セメント工業株式会社
- 株式会社 沖縄建材
- 株式会社 東洋設備

- ザ・テラスホテルズ 株式会社
- ムーンホテルズ アンド リゾーツ株式会社
- 沖縄ゼロックス株式会社
- 株式会社 オウ・ティ・ケイ
- 株式会社 あまさん
- 株式会社 オカノ

- 株式会社 国建
- 沖縄火薬販売 株式会社
- 沖縄アンホ 株式会社
- 株式会社 コービック
- ティーアールエム株式会社
- 株式会社 エヌ・ティ・ディ